

令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	立教大学	タイプ	B①
事 業 名	リベラルアーツの高度化に向けたアジア4大学共同体—国際共同副専攻によるグローバルリーダー育成		
海外の相手大学	ソウル大学校、北京大学、シンガポール国立大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、中国の北京大学、韓国のソウル大学校ならびにシンガポール国立大学とともに、大学間コンソーシアムを形成し、学部における「リベラルアーツ教育」を共同テーマとして、アジアにおけるグローバルリーダーの育成を目指す積極的な事業である。立教大学は今回、大学の世界展開力強化事業に初めて参加することとなるが、既にキャンパス・アジア事業に参加してきたソウル大学校、北京大学の実績を基盤に、シンガポール国立大学というASEANの有力大学とともに実施される本事業は、実現可能性が高く見込まれる。特に、「Asian Liberal and Interdisciplinary Studies (ALIS)」と呼ばれる国際共同副専攻を制度化し、「アジア発未来共創型グローバルリーダー」の養成を企図するとともに、4大学間長期交換留学、インテンシブプログラム、共同オンライン科目群の設置、インターンシップ又は社会貢献活動、及び国際文化交流といったプログラムを組み合わせた学生交流が計画されており、アジアにおけるリベラルアーツ教育の一つのモデルとなることが期待される。また、本事業を、立教大学の国際化ビジョンに基づきスーパーグローバル大学創成支援事業として進めてきた「グローバルリベラルアーツ×リーダーシップ教育×自己変革力—世界で際立つ大学への改革—」の発展形として取り組もうとしている点でも、事業期間終了後を見据えたものとして、国際化を更に活性化させる効果が期待される。

本事業では、ジョイントディグリーやダブルディグリーではなく、プログラムにおいては6つのコアスキルを習得した国際共同副専攻の修了証が、4大学連名・共通様式の成績証明書として発行される予定であり、かつ電子化が企図されている点も、現在の高等教育における国際通用性を重視した動向を反映したものとなっている。

一方で、現状では基本的な枠組みには4大学が合意しているとされているものの、ネットワークや6つのコアスキルを軸としたプログラム内容の共同開発、科目群やインターンシップの実施体制等、運営体制の整備については、今後、具体化・精緻化が求められる。同時に、リベラルアーツ教育に求められる高い語学力を担保した質の高いプログラム運営が期待される。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。